

認知症専門部会における平成 26 年度上半期の事業実施状況
および平成 27 年度実施事業（案）について

1 平成 26 年度上半期の事業実施状況及び検討状況（【 】内は対応する課題）

(1) 現在実施中の事業

① 認知症チェックリストの活用【区民への啓発・家族への支援】

9 月 1 日より東京都と東京都健康長寿医療センターが開発した認知症チェックリストを配付し、早期発見の機会提供を実施している。

来年度以降、認知症ガイドブックに盛り込む予定。

※ 別紙 1 参照

② 認知症フォーラム【区民への啓発・家族への支援】

認知症の人の在宅医療・療養への理解の促進を目的として、「認知症フォーラム」を開催。

※ 別紙 2 参照

・ テーマ

「認知症在宅医療の最前線！～本人・家族の日常生活を支えるカルテ～」

・ 講師 医療法人社団つくし会 新田クリニック院長

全国在宅療養支援診療所連絡会会長 新田國夫 氏

・ 日程 平成 26 年 11 月 8 日（土）午後 1 時 30 分～ 4 時

・ 会場 練馬区役所アトリウム地下多目的会議室

(2) 検討中の事業

① 医療・介護・家族の情報共有ツール（紙媒体）【多職種の連携強化】

家族を含めた関係者間で連絡や情報共有をしやすいするための方法について検討を進めている。



<取組の方向性> 平成 27 年 9 月～ 実施予定

普及しているお薬手帳といっしょに携帯できる連携シートを作成する。

本人、ご家族の管理と同意のもと、関係する機関の担当者、連絡先等が記入できるものとする。

情報の伝え方は、本人、ご家族、連携機関の合意と工夫に委ねる。

利用についての手引書を作成し、一定のルールのもと運用を図る。

※ 連携シート案…別紙 3 参照

※ 情報共有ツール運用スケジュール

年度	月	作業内容
26	11月	第4回専門部会開催 ・運用ルール等の検討
	1月	第5回専門部会開催 ・実施案（連携シート・運用手引書）検討
	3月	第2回協議会 ・進捗状況報告 ・実施案提示
27	4月	第1回専門部会開催 ・実施案最終確認
	5月～ 8月	・関係機関周知 ・配付体制整備
	9月	・区民向け周知・配布・手引き書と合わせてホームページ等掲載

② 認知症相談事業の充実【サービス提供体制の充実】

高齢者相談センターの認知症相談事業における相談者の増、予約から相談までの期間短縮を図るための方策を検討している。

また、制度改正で求められている、早期発見と早期対応、特に独居や受診拒否者への対応としての訪問相談の仕組みについて、医療・介護のコーディネートのあり方を含めて検討している。

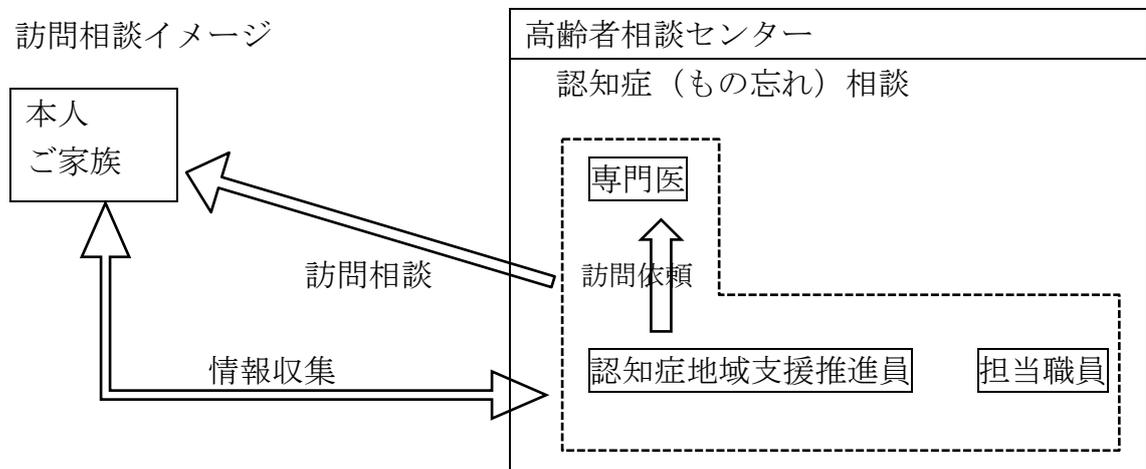


<取組の方向性> 平成27年4月～ 実施予定

高齢者相談センターで実施している認知症（もの忘れ）相談事業に、協力いただける医師を増員し、相談回数の増と訪問相談ができる仕組みを整える。

相談事業対象者の情報収集および相談後の、受診、介護サービス利用などのコーディネートのため認知症地域支援推進員を配置する。

図1 訪問相談イメージ



③ 認知症ガイドブック（ケアパス）の発行【区民への啓発・家族の支援】

認知症支援に関する地域資源や制度の解説、利用の流れ等を載せた冊子やホームページの作成について検討を進めている。



<取組の方向性> 平成28年3月 発行予定

○認知症ガイドブック

- ・認知症への対応の入り口の部分で道しるべとなるような冊子にする。
- ・認知症の人の状態に応じたサービスの全体像がわかり安心感につながる内容にする。
- ・ページを絞り、イラストや事例を盛り込み興味を湧くような内容にする。

※ 構成案 別紙4

参考資料 別紙5 参照

○医療・介護資源マップ

- ・認知症の人の在宅療養を支える、区内の医療機関・介護事業者等に関する情報を掲載したマップについて検討する。

※ 発行スケジュール

年度	月	作業内容
26	11月	第4回専門部会開催 ・レイアウト案を提示 ・各委員へのテキスト作成の一部を依頼
	3月	第2回協議会 ・進捗状況報告
27	4月	第1回専門部会開催 ・委員からの原稿を反映させたガイドブック案を提示
	10月	第1回協議会 ・進捗状況報告 ・ガイドブック案について報告
	11月	第 回専門部会 ・ガイドブック案の内容確認
	11月～ 2月	入稿、印刷、配付体制整備
	3月	発行

④ 在宅生活支援の充実【区民への啓発・家族への支援】

認知症の人を支える介護家族への支援の充実や地域で安心して暮らすための認知症の人の生活モデルの紹介について検討を進めている。



<取組の方向性>

- 介護家族支援の充実 平成27年4月～ 実施
 - ・認知症介護家族による介護なんでも電話相談の回数増
 - ・家族支援講座等の充実
- 認知症の人の生活モデルの紹介 平成27年3月試行 4月～実施
 - ・家族介護者教室等での紹介
 - ・地域密着型介護サービス事業所等、見学会、学習会
 - ・認知症ガイドブックでの事例紹介

認知症の人の生活モデルの紹介 (試行案)

・目的

認知症になっても安心して暮らし続けるためには、必要なサービス利用や医療、関わる多様な方々の連携、温かく見守る地域づくりなどが求められている。

地域の中で、安心して過ごせる環境の構築や提供を行いつつ、認知症の人のケアに取り組んでいる地域密着型サービス等の実践から認知症の人の生活を学ぶことで地域での暮らし方の理解普及を図る。

・内容

第1回 (仮題)「地域での共同生活～認知症対応型グループホームの取組」
講師 ミニケアホームきみさんち 管理者
練馬区在宅療養推進協議会認知症専門部会委員 志寒浩二 氏

・日時

平成27年3月13日(金) 午後2時～4時

・場所

練馬区役所 20階交流会場

・対象

区民

2 平成 27 年度以降実施事業（案）

(1) 継続して実施する事業

- ・ 認知症（もの忘れ）相談事業
回数増および訪問相談の実施にて充実
- ・ 認知症介護家族による介護なんでも電話相談
回数増にて充実
- ・ 家族介護者教室
認知症の人の生活モデルの紹介を充実
- ・ 認知症サポーターの養成

(2) 新規に実施する事業

- ・ 医療・介護・家族の情報共有ツール（紙媒体）の周知・運用
- ・ 認知症ガイドブック（練馬区版ケアパス）の発行
- ・ 医療・介護資源マップ（検討）
- ・ 認知症サポーターの活用
より積極的な関わりや社会貢献を望むサポーターに、見守り事業等、
区の事業を紹介し、養成と活用を図る
- ・ （仮称）認知機能低下予防教室
最新の知見を取り入れた認知機能低下予防教室について介護予防・日常生活支援総合事業での実施を検討